



平成 27 年 5 月 18 日

第 4 回オリンピック・パラリンピックに伴う

大規模施設対策等小委員会を開催

日本物流団体連合会は、千代田区平河町の都道府県会館において、オリンピック・パラリンピックに伴う大規模施設対策等小委員会を、5 月 14 日に開催した。本会は、2015 年度における最初の小委員会であり、昨年度から通算すると第 4 回目の小委員会である。

まず事務局より、3 月 25 日に「大規模建築物に関する提言」が発表された後の活動として、政府や関係団体などに提言が提出され、意見交換が行われたことが報告されるとともに、今後もこのような活動を継続することが重要であることが確認された。

続いて、大規模建築物に関し、物流の面から見て望ましい具体的な基準について審議が行われた。まず、流通経済大学の苦瀬教授より、大規模建築物の荷さばき施設の計画設計方法に関し、現在の取り扱いやその問題点、改善の在り方に関する考え方の素案が示された。特に、3 月の中間報告において指摘されている、①車両出入り口の高さ制限、②荷さばき駐車施設の不足、③貨物用エレベーターの未設置・不足、④館内動線の不備、の 4 点について、建築物が備えるべき施設の具体的な基準や、改善策が示され、これらの点について、各委員による活発な意見交換が行われた。

最後に今後の進め方として、物流分野における建築・設計部門の専門家の意見も取り入れるよう努めること、更に、今年度の第 1 回目の報告をできるだけ早くまとめられるよう作業を進めること、次回会議を 6 月中旬に開催することの 3 点が確認された。



小委員会全景



発言する苦瀬教授

以上
事務局：笹山